

事務事業名		電気自動車購入支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	環境政策係	担当課長名	大越裕之	
	施策	3 再生可能エネルギーの普及と省エネルギー対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 省エネルギー対策の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7731	一般	4	1	5	電気自動車購入支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	24年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市電気自動車購入支援補助金交付要綱					
	実施方法		実施方法		事業分類		現金・現物給付事業		現金・現物給付事業		
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		4-5		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
温室効果ガスの排出削減に配慮した電気自動車の普及を促進するため、電気自動車の購入者(個人)に対し、その費用の一部を補助し、もって地球温暖化防止の推進に寄与する。	交付件数 8件 交付金額 400,000円					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
市民が所有する電気自動車台数	台	20	28	34	40	46

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

全市民(世帯)	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
人口	人口	人	123,182	122,582	121,522		
世帯数	世帯数	世帯	49,170	49,531	49,773		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

電気自動車の普及促進による温室効果ガスの排出量の削減及び地球温暖化防止の推進	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
市民が所有する電気自動車台数	台	20	28	34	40	46	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が、省エネルギー対策に十分取り組んでいる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
低燃費・低公害車を使用している市民の割合	%	26.1	23.3	29.0	30.0	31.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	650		400		180					
	事業費計(A)	千円	650		400		180		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			19-1 補助金	650	19-1 補助金	400	19-1 補助金	180				
	人件費	人	1		1		1					
のべ業務時間	時間	80		80		80						
人件費計(B)	千円	311		315		315		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	961		715		495		0		0		

事務事業名	電気自動車購入支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	総合計画中期基本計画における「地域環境・地球環境に配慮した生活・事業活動の推進」として「省エネルギー商品の普及促進」、「エコ商品に対する新たな補助制度の創設」を掲げ、さらに市長 Manifesto の「地球温暖化防止の推進」、「省エネルギー商品普及のための補助制度の創設」を踏まえ、温室効果ガスの排出削減、二酸化炭素の排出量の軽減を図るため、平成24年度から電気自動車の導入支援を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	今後も、エネルギー政策にも関連したかたちで、温室効果ガスの削減に向けた法整備等がなされると考えられる。また、県は経済産業省のEV・PHVタウンに選定され、平成23年6月には、とちぎ電気自動車等普及促進協議会を設置し、産官学が一体となってEV・PHVの普及を目指している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成23年2月議会において、新たなエコ商品に対する補助の創設について答弁している。また、市長 Manifesto には、「地球温暖化防止に向けた各種取り組みの推進」、「省エネルギー商品普及のための補助制度の創設」が掲げられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	「現状維持により対象外」

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	基本事業「省エネルギー対策の推進」に直結する事業であり、温室効果ガス排出の削減による地球温暖化防止に貢献すると考えられる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	電気自動車の普及促進を支援していくことは、地球温暖化防止対策に対して連携を図る市としての責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	電気自動車は温室効果ガス削減に効果があるが、市民が電気自動車の購入を検討する場合、ガソリン車よりも高価であったり、充電設備が整備されていないなど、などの理由で普及が進んでいないのが現状である。県は充電設備の整備支援を進めており、地球温暖化対策に連携する市としては、購入費用における支援により、市民への電気自動車の普及推進を図るものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市民、事業者への電気自動車の普及を図るため、市公用車にも積極的に電気自動車を導入し、率先して取り組む必要がある。また、急速充電器の利用促進を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費・人件費は、妥当なものである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者は電気自動車の購入者であるが、ガソリン車の本体価格以上の自己負担をした上で購入することになるため、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 充電設備の整備、電気自動車の価格がガソリン車程度になり、自発的に購入が進む状況になったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 公用車の電気自動車の導入及び急速充電器の利用促進	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					